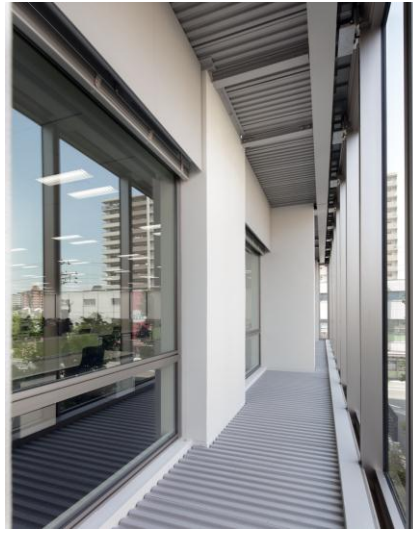


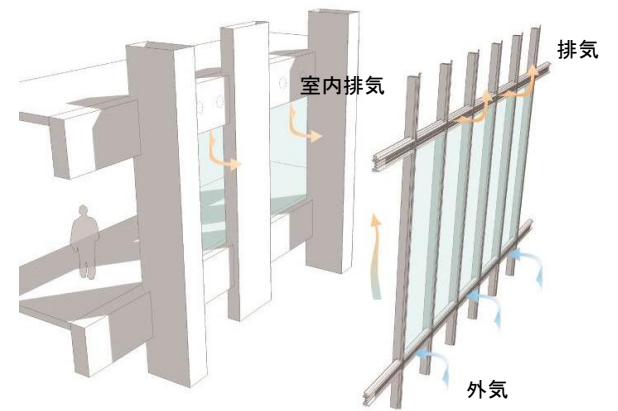
環境配慮事項とねらい

【1】方位や周辺環境に対応した合理的な外装計画

- ① 東面：太陽高度の低い東面はダブルスキン+日除け壁柱による構造体を利用した日射制御
南面：太陽高度の高い南面は深い庇によって日射を制御
西面：マンションに隣接する面には、視線を遮るため開口部の少ないコアを配置。併せて空調負荷も低減。
北面：安定した採光が得られる北面も十分な開口を計画。
- ② 南面を開けられる窓とすることにより、自然通風を促し、またエコボイドから給気しダブルスキンに排気することで建物全体の空気の流れをデザイン
- ③ ダブルスキン内に室内の排気を送ることで、空調負荷を低減させる排熱カスケード利用システム



【1】ダブルスキン+日除け壁柱



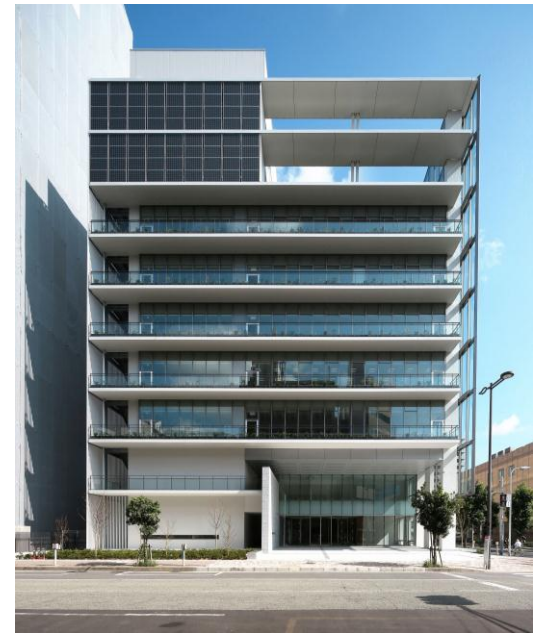
【1】ダブルスキン内の空気の流れと排熱カスケード利用システム

【2】自然エネルギーの積極的利用

- ① 屋上及び南面の壁に 50kW の太陽光発電パネルを設置
発電した電力は建物の電力系統に接続
- ② エコボイド上部に太陽を追尾する採光装置（ソラリス）、コミュニケーション階段上部にトップライトを設置することで、執務空間に自然光を取り込み
- ③ 免震層は事務所の外気取込みのためのクール&ホットピット



【1】【4】南面バルコニー庇とプランター



【2】南面の太陽光発電パネル

【3】省エネルギーに配慮した設備計画

- ① 照明器具は LED 器具を全面的に採用
- ② 自然光が得られる窓際やエコボイド廻りの執務エリアは昼光センサーによる照明制御
- ③ 人感センサーによるきめ細かい照明制御
- ④ 大便器、小便器、洗面器は節水型器具を全面的に採用
- ⑤ WC にも外光を取り込み照明数の低減に配慮

【4】ヒートアイランド対策

- ① 屋上には日本の四季を感じることができる庭園を設け熱負荷低減と敷地内温熱環境を向上
- ② 南面バルコニーはプランターを設け、緑化率を向上
- ③ エコボイドは竹を植え、中庭に緑のあるエントランスホールを計画



【2】太陽光集光装置（ソラリス）



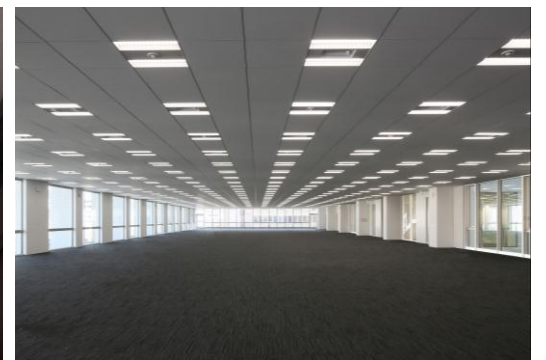
【2】トップライトから注がれる自然光

【5】安全・安心な本社ビルの実現

- ① 建物は免震構造とし、安全性を確保
- ② 屋上に防災・保安兼用の非常用発電機を設置し、非常停電時には災害拠点となる部屋の照明、コンセント、加圧給水ポンプ等への電力供給が可能
- ③ 淀川の決壊や津波でも浸水しない高さの2階にデータセンター、防災センターを設置



【4】下部に竹を植樹したエコボイド



【3】事務所の LED 照明と昼光、人感センサー



【4】日本の四季を感じることができる庭園（日本庭園）



【2】エコボイドからの光と、トップライトからの光を受けるコミュニケーション階段